

飲水思源
——本校創校初期校園供水問題初探

林建財

飲水思源—— 本校創校初期校園供水問題初探

林建財

宜蘭農林學校創校於大正 15 年（1926）5 月 12 日，開辦之初借用「宜蘭公學校」（今宜蘭市中山國小）教室三間上課。迄昭和 3 年（1928）新設校舍竣工，始遷入現址宜蘭市神農路一號上課。



台北州立宜蘭農林學校行政大樓及大門（摘自本校農林學校時期第 2 回畢業紀念冊）

水是生命之源，不可一日或缺。昭和 3 年（1928）當時宜蘭廳所轄蘇澳、羅東、宜蘭三郡中，僅蘇澳、羅東、叭哩沙（今三星）完成水道建設，而首善之區的宜蘭街水道工程卻尚未興建。台北州為解決學校用水之需求，特別在校區先行鑿設深水井（自噴井）二口，分別位於學寮東南方（即倉庫右側）及農場事務室旁，井邊設貯水塔，以井水供水校區，為時約 5 年（前者至民國 60 年代初，颱風天停水時，仍是眷舍的主要水源）。



台北州立宜蘭農林學校設校初期新設水井位置圖／資料來源：作者自畫

宜蘭水道於昭和 7 年 10 月 15 日完工通水，台北州政府將宜蘭農林學校與台灣總督府所屬宜蘭醫院、專賣局宜蘭出張所等 12 個機關列為推廣公署新設自來水計畫內。按日治時期學校教育經費由官庫州廳及地方政府負擔，教職員俸給由總督府官庫支付，其餘經費由州庫負擔，因此於昭和 8 年 6 月 15 日由台北州土木課提出 3 申請案，於校區埋設 100 公厘口徑鑄鐵管 152 公尺、消火栓 3 只、各口徑鉛管 465 公尺、水栓 18 只，工程費三案合計 3466.24 圓，主要供水校區含農場前半部，詳下圖「給水裝置工事設計書」。

給水裝置工事設計書

申請第 64, 65 號 昭和 8 年 6 月 15 日立案 昭和 8 年 6 月 15 日決款

設計額年納月付日	設計額金 138,330				精算額金 102,730						
	種目	寸法	單位	數量	單價	金額	種目	寸法	單位	數量	單價
昭和 8 年 6 月 15 日	鉛管	1.2	米	730	42.7	31,171.0	ハンダ	箱	30	2,140	64,200
	鉛管	1.5	米	250	45.1	11,275.0	揮發油	箱	30	2,140	64,200
	鉛管	2.0	米	120	38.0	4,560.0	木	箱	60	600	36,000
	鉛管	2.5	米	100	35.0	3,500.0	木	箱	120	1,200	144,000
	鉛管	3.0	米	70	32.0	2,240.0	セメント	箱	130	1,300	169,000
	鉛管	3.5	米	50	30.0	1,500.0	砂	箱	40	4,000	160,000
	鉛管	4.0	米	30	28.0	840.0	砂	箱	20	2,000	40,000
	鉛管	4.5	米	20	26.0	520.0	砂	箱	10	1,000	10,000
	鉛管	5.0	米	10	24.0	240.0	砂	箱	5	500	5,000
	鉛管	5.5	米	5	22.0	110.0	砂	箱	2	200	2,000
昭和 8 年 6 月 15 日	不銹水管	1.2	米	100	180.0	18,000.0	量水器	個	10	1,000	10,000
	不銹水管	1.5	米	50	150.0	7,500.0	量水器	個	5	500	5,000
	不銹水管	2.0	米	30	120.0	3,600.0	ホブタス	個	10	1,000	10,000
	不銹水管	2.5	米	20	100.0	2,000.0	ホブタス	個	5	500	5,000
	不銹水管	3.0	米	10	80.0	800.0	ホブタス	個	2	200	2,000
	不銹水管	3.5	米	5	70.0	350.0	ホブタス	個	1	100	1,000
	不銹水管	4.0	米	3	60.0	180.0	ホブタス	個	0.5	50	500
	不銹水管	4.5	米	2	55.0	110.0	ホブタス	個	0.2	20	200
	不銹水管	5.0	米	1	50.0	50.0	ホブタス	個	0.1	10	100
	不銹水管	5.5	米	0.5	45.0	22.5	ホブタス	個	0.05	5	50
昭和 8 年 6 月 15 日	止水栓	個	10	3,600	36,000	止水栓	個	5	3,600	18,000	
	止水栓	個	5	3,600	18,000	止水栓	個	2	3,600	7,200	
	止水栓	個	3	3,600	10,800	止水栓	個	1	3,600	3,600	
	止水栓	個	2	3,600	7,200	止水栓	個	0.5	3,600	1,800	
	止水栓	個	1	3,600	3,600	止水栓	個	0.2	3,600	720	
	止水栓	個	0.5	3,600	1,800	止水栓	個	0.1	3,600	360	
	止水栓	個	0.2	3,600	720	止水栓	個	0.05	3,600	180	
	止水栓	個	0.1	3,600	360	止水栓	個	0.02	3,600	72	
	止水栓	個	0.05	3,600	180	止水栓	個	0.01	3,600	36	
	止水栓	個	0.02	3,600	72	止水栓	個	0.005	3,600	18	
昭和 8 年 6 月 15 日	給水栓	個	10	1,000	10,000	給水栓	個	5	1,000	5,000	
	給水栓	個	5	1,000	5,000	給水栓	個	2	1,000	2,000	
	給水栓	個	3	1,000	3,000	給水栓	個	1	1,000	1,000	
	給水栓	個	2	1,000	2,000	給水栓	個	0.5	1,000	500	
	給水栓	個	1	1,000	1,000	給水栓	個	0.2	1,000	200	
	給水栓	個	0.5	1,000	500	給水栓	個	0.1	1,000	100	
	給水栓	個	0.2	1,000	200	給水栓	個	0.05	1,000	50	
	給水栓	個	0.1	1,000	100	給水栓	個	0.02	1,000	20	
	給水栓	個	0.05	1,000	50	給水栓	個	0.01	1,000	10	
	給水栓	個	0.02	1,000	20	給水栓	個	0.005	1,000	5	
昭和 8 年 6 月 15 日	給水柱	個	10	2,000	20,000	給水柱	個	5	2,000	10,000	
	給水柱	個	5	2,000	10,000	給水柱	個	2	2,000	4,000	
	給水柱	個	3	2,000	6,000	給水柱	個	1	2,000	2,000	
	給水柱	個	2	2,000	4,000	給水柱	個	0.5	2,000	1,000	
	給水柱	個	1	2,000	2,000	給水柱	個	0.2	2,000	400	
	給水柱	個	0.5	2,000	1,000	給水柱	個	0.1	2,000	200	
	給水柱	個	0.2	2,000	400	給水柱	個	0.05	2,000	100	
	給水柱	個	0.1	2,000	200	給水柱	個	0.02	2,000	40	
	給水柱	個	0.05	2,000	100	給水柱	個	0.01	2,000	20	
	給水柱	個	0.02	2,000	40	給水柱	個	0.005	2,000	10	
昭和 8 年 6 月 15 日	給水柱受水	個	10	1,000	10,000	給水柱受水	個	5	1,000	5,000	
	給水柱受水	個	5	1,000	5,000	給水柱受水	個	2	1,000	2,000	
	給水柱受水	個	3	1,000	3,000	給水柱受水	個	1	1,000	1,000	
	給水柱受水	個	2	1,000	2,000	給水柱受水	個	0.5	1,000	500	
	給水柱受水	個	1	1,000	1,000	給水柱受水	個	0.2	1,000	200	
	給水柱受水	個	0.5	1,000	500	給水柱受水	個	0.1	1,000	100	
	給水柱受水	個	0.2	1,000	200	給水柱受水	個	0.05	1,000	50	
	給水柱受水	個	0.1	1,000	100	給水柱受水	個	0.02	1,000	20	
	給水柱受水	個	0.05	1,000	50	給水柱受水	個	0.01	1,000	10	
	給水柱受水	個	0.02	1,000	20	給水柱受水	個	0.005	1,000	5	
昭和 8 年 6 月 15 日	附柱	個	10	1,000	10,000	附柱	個	5	1,000	5,000	
	附柱	個	5	1,000	5,000	附柱	個	2	1,000	2,000	
	附柱	個	3	1,000	3,000	附柱	個	1	1,000	1,000	
	附柱	個	2	1,000	2,000	附柱	個	0.5	1,000	500	
	附柱	個	1	1,000	1,000	附柱	個	0.2	1,000	200	
	附柱	個	0.5	1,000	500	附柱	個	0.1	1,000	100	
	附柱	個	0.2	1,000	200	附柱	個	0.05	1,000	50	
	附柱	個	0.1	1,000	100	附柱	個	0.02	1,000	20	
	附柱	個	0.05	1,000	50	附柱	個	0.01	1,000	10	
	附柱	個	0.02	1,000	20	附柱	個	0.005	1,000	5	



圖為學寮全景，屋頂上有三角形氣窗的那棟是公用廁所，廁所外側走廊上有突出物處即為公用盥洗台，也就是住宿生平日盥洗的地方。（摘自本校農林學校時期第 7 回畢業紀念冊）



晨間盥洗、宿舍洗澡，有自來水供應真好！（摘自本校農林學校時期第 3、9 回畢業紀念冊）

昭和 8 年第 1 次申請之給水裝置工事設計書
／資料來源：作者提供自台灣自來水公司

昭和 10 年配合慶祝創校 10 週年紀念，開放外界參觀，於昭和 10 年 6 月 12 日再以 150.79 圓申請裝設學寮（學生宿舍）浴室及廚房用水，全面改用自來水。

設校初期住校生甚多，以昭和 15 年為例：全校學生 511 人中，住校生竟高達 236 人，其水龍頭配置情形為：學生寢室 19 支、盥洗室、浴室各 2 支，及事務室、康樂室、廚房、晒衣室各 1 支，因此量足質優穩定供水，已成為學校的必備設施。

昭和 14 年已推廣至農場（含養蠶室、農夫室、農產製造室、豬舍、雞舍、家畜室等）全面供應自來水，該計畫於昭和 14 年 3 月 4 日提出，埋設各口徑鉛管 456 公尺、給水用水栓 73 只，總工程費 2,852 圓。至此，台北州宜蘭農林學校已完成全面使用自來水化。



廚房

廚房備餐情形（摘自宜蘭農林學校第一輯校史）



望原園菜蔬

農林學校時期遠眺校園的景象（摘自本校農林學校時期第 5 回畢業紀念冊）



飯廳用餐（摘自本校農林學校時期第 3 回畢業紀念冊）



農林時期學生消防滅火訓練（摘自本校農林學校時期第 7 回畢業紀念冊）

作者簡介

林建財傑出校友，本校綜合農業科 53 年畢業，曾在土木測量科任職，後經普考及格，分發至自來水公司服務，期間，並分別取得國立東華大學、美國多明尼肯大學學歷。

在自來水公司服務期間，從基層課長歷升至台灣自來水公司材料採購處長。退休後擔任政府推動新南向（印尼）自來水工程顧問。

